

日進市のスマートインターチェンジ地区協議会

設立趣意書

本市は、名古屋市近郊に位置する地理的条件などから、人口減少時代にありながらも若い世代の流入も多く、日進市人口ビジョン・総合戦略においても、2060年まで人口の増加が続くと推計されております。

これからも本市が住みやすく、活力と魅力が溢れるまちとして成長していくためには、交通ネットワークの充実や、防災対策など、10万人都市にふさわしい都市基盤整備や、良好なまちなみ形成に向けて一層の推進が必要であり、市民が安全・安心に暮らせるまちづくりに鋭意努力をしていかなければなりません。

本市の北西部から南東部にかけては、高規格幹線道路である東名高速道路が位置しており、今後のさらなるにぎわい、活力あるまちづくりを進めていくためには、道路ストックを活用し、より利便性を高めることが重要であると考えます。

こうした中で、日進市のスマートインターチェンジを整備することにより、市民の利便性の向上、渋滞の緩和はもとより、企業活動の活性化、観光の振興、大規模災害への対応強化の効果も期待できます。

このため、国土交通省、愛知県、愛知県警察、中日本高速道路株式会社、みよし市、東郷町、関係機関及び本市が連携して、日進市のスマートインターチェンジの設置に向け、必要な検討・調整を行い、供用後も継続して、その社会便益・安全性・利用交通量・管理・運営形態等について、定期的にフォローアップし、必要に応じ見直すことを目的として、「日進市のスマートインターチェンジ地区協議会」を設立するものです。

令和元年8月19日

日進市長 近藤 裕貴